

【会議記録】

第3回一宮市部活動地域移行検討協議会

日時	令和5年8月29日（火）14時30分～16時
場所	一宮市役所本庁舎1102会議室
出席者	委員12名（鈴木、春日井、土川、小島、町田、五藤、伊藤之、芳賀、江藤、伊藤実、藤原、森）

1 開会のことば

2 一宮市教育委員会あいさつ（教育長）

3 報告事項

（1）プロチーム主催のバレーボール教室【8/24(木)】について

○ 事務局から以下のように報告があった。

- ・申込希望が男子52名、女子82名。当日参加したのは男子52名、女子77名。プロチームの指導者が5名、教職員希望者による参加が1名であった。男女ともに1時間半程度練習を行い、パスやサーブ、アタック等、基本的なことを丁寧にわかりやすく教えていた。
- ・練習後に「参加して良かった」と挙手した生徒が約95%いた。保護者は20～30名程が観覧席から見学し、保護者の送迎で参加している生徒が多かった。

（2）中小学校体育連盟 総合体育大会を終えて

○ 事務局から以下のように報告があった。

- ・7月1日からの一宮市総合体育大会を皮切りに、西尾張大会、県大会、東海大会、全国大会が実施された。一宮市の中学生も、水泳個人で3名、ソフトテニス個人のペアが全国大会に出場した。
- ・令和5年度から、県大会より地域クラブ活動の参加を認めた種目が、ハンドボール、相撲、バレーボール、弓道、柔道の5種目あった。令和6年度については、現状何も見通しが立っていない。

4 協議

（1）モデル事業（5つのモデルケース）について

① 令和5年度モデル事業について

○ 事務局から以下のように提案があった。

- ・モデル事業の検証ポイントについて、バレーボールであれば、「①保護者負担金が適当か、いくらまでなら可能か」「②生徒のレベルに合わせた指導がなされているかどうか」等についてあげている。事後アンケートでは、モデル事業がスタートする前に、保護者にはアンケート内容を伝えていきたい。また、参加者本人には毎回アンケートを実施したい。
- 告知方法として、5つのモデル事業をチラシ一枚にまとめて全員に配付したり、学校HPからすぐに申込フォームにいくことができるようにしたり、幅広く周知できる方法を工夫して欲しい。
- モデル事業に申し込んだ生徒が欠席する場合は、主催団体にメールを送信する等、学校とは切り離して考えて欲しい。
- 今回の事業を行う時間帯については、部活動を休みにしてモデル事業を優先させて欲しい。学校・教職員の意識が変わっていかないと、いつまでたっても地域移行は進まない気がする。

② 教職員モデルの進め方について

○ 事務局から以下のように提案があった。

- ・部活動の指導を続けたいと考えている教職員がいるため、受け皿の1つとなり得る「希望する教職員が指導者になる」というモデルを進めていきたい。
- ・種目については、軟式野球を考えている。現在、軟式野球部がない中学校を中心に実施できないか検討している。指導者は2,3人で、定員は20～30人程度を想定している。
- 指導を希望する教職員について、謝金はいくらが妥当なのか、保護者負担はどれくらい必要なのか等、しっかりと検証して欲しい。
- 指導を希望する教職員は、兼職兼業の届けを提出して、学校長が認めた場合は、土日に指導することが可能になるだろう。
- 地域や一般の方が指導者になる上で、入り口になっていく可能性を含めた教職員モデルである。人材を発掘しつつ、地域に根差していくという視点をもって進めて欲しい。

（2）その他

- ・特になし

5 一宮市教育委員会あいさつ

6 閉会のことば